



**「超高齢社会における住まい・コミュニティのあり方検討会」を開催
～ “Aging in DANCHI” 安心して住み続けられるUR賃貸住宅を目指して～**

高齢社会が急速に進展する中で、UR都市機構（独立行政法人都市再生機構）では、UR賃貸住宅で、高齢者がいつまでも安心して住み続けられる住まい環境づくりを進めています。

このたび、URは、有識者による「超高齢社会における住まい・コミュニティのあり方検討会」を設置しました。

検討会では、UR賃貸住宅を活用した、高齢者が住み慣れた地域でいつまでも住み続けることができる住まい環境づくりの方向性について、提言をいただく予定です。

1 検討会設置の背景と目的

高齢社会が急速に進展する中で、高齢者が自立したまま安心して住み続けることのできる住まい環境が求められています。

URでは、こうした社会背景に対し的確かつ早急に対応していくために、地域の医療・介護・予防・生活支援と連携し、いつまでも安心して住み続けられる住まい（Aging in DANCHI）の整備を目指しています。

このたび、URは、「超高齢社会における住まい・コミュニティのあり方検討会」を設置しました。この検討会では、各分野の有識者・国・URによる意見交換を通じて、「UR賃貸住宅を活用した自立型の高齢者向け住宅改修のあり方」などについて、提言をいただく予定です。

URは、検討会における提言を踏まえて、UR賃貸住宅において高齢者がいつまでも安心して住み続けられる住まい環境づくりを進めてまいります。

2 検討内容（別添資料参照）

- ① UR賃貸住宅を活用した自立型の高齢者向け住宅改修のあり方
- ② UR賃貸住宅にお住まいの方を対象とした高齢者支援サービスの提供のあり方
- ③ 終の棲家、地域福祉拠点としてのUR賃貸住宅のあり方

3 検討会委員（敬称略）

○有識者（50音順）

小山 剛 社会福祉法人長岡福祉協会 高齢者総合ケアセンターこぶし園 総合施設長
田城孝雄 放送大学 教養学部教授、順天堂大学 客員教授
辻 哲夫 東京大学 高齢社会総合研究機構 特任教授（座 長）
東内京一 埼玉県和光市 保健福祉部長
深尾精一 首都大学東京 都市環境学部 教授
藤森克彦 みずほ情報総研株式会社 主席研究員
前田展弘 株式会社ニッセイ基礎研究所 准主任研究員

○国

深澤典宏 厚生労働省 老健局 高齢者支援課長
朝川知昭 厚生労働省 老健局 振興課長
石川卓弥 国土交通省 土地・建設産業局 不動産市場整備課長
瀬良智機 国土交通省 住宅局 安心居住推進課長

○UR都市機構

内海英一 独立行政法人都市再生機構 理事

4 検討会スケジュール

3回の検討会を経て、取りまとめる予定です。

第1回 4月24日（水）（実施済み）
第2回 6月20日（木）
第3回 7月下旬頃予定

お問い合わせは下記へお願いします。

本社 住宅経営部 ウェルフェア推進チーム

（電話）045-650-0590

本社 カスタマーコミュニケーション室 報道担当

（電話）045-650-0887

「Aging in DANCHI」 終の棲家 ～ 地域の福祉拠点の整備

■ UR賃貸住宅を効果的に活用し、バリアフリー化され、介護・医療、生活支援等のサービスの利用が可能な、「終の棲家」を提供するとともに、「地域の福祉拠点」を形成する。

